

ピアノマスタークラス

ピオトル・バナシク先生 (ポーランド・カトヴィツェ カロル・シマノフスキ音楽院准教授)

桜美林大学ひなたやまキャンパス HE104 2022.10.17

ポーランド語通訳 (芸術文化学群音楽専修教授 小早川朗子)

受講曲目

- ・ 14:00 グラナドス：ゴイエスカス「わら人形」
- ・ 14:45 モーツァルト：ピアノ協奏曲第 20 番 k.466 終楽章
- ・ 15:30 ラフマニノフ：op.10-1「ノクターン」
- ・ 16:00 ブラームス：op.116-3「カプリッチョ」
- ・ 16:45 サン＝サーンス：アレグロ・アパッショナート
- ・ 17:15 リスト：森のささやき
- ・ 18:00 プロコフィエフ：ソナタ第 3 番
- ・ 18:45 ショパン：ノクターン op.9-1

ピオトル・バナシク教授(カトヴィツェ音楽院准教授)

Piotr Banasik



ピオトル・バナシクは、アンジェイ・ヤシンスキ教授クラスの門下生として 2006 年にカトヴィツェ カロル・シマノフスキ音楽院を優秀な成績で卒業。2015 年には PhD を取得し、母校にて准教授のポストを得る。これまでにマスタークラスにおいてヴェラ・ゴルノスタエヴァ、アレクセイ・オルロヴェツキ、ダン・タイ・ソン、アレクシス・ワイセンベルク、アリエ・ヴァルディ、クリスチャン・ツィメルマンなどのアーティストの指導を受ける。

ポーランド国内外のコンクールや音楽祭で数々の賞を受賞しており、第 48 回マリア・カナルスコンクール(バルセロナ)メダル受賞、2002 年若い音楽家のための音楽祭(グダンスク)一位、パルナツソス国際ピアノコンクール(モンテレイ、メキシコ)グランプリ、2003 年シヨパンピアノアーティストィックスカラシップコンクール(ワルシャワ)一位のほか、第 36 回ポーランドピアノ音楽祭(スウプスク)で表彰、2005 年 10 月には第 15 回シヨパンコンクール(ワルシャワ)では the best participant who did not qualify to the final round を含む特別賞を受賞した。2009 年リスト国際ピアノコンクール(ヴロツワフ)、2012 年ナショナルシヨパンピアノコンクール(ワルシャワ)でも受賞している。またポーランド文化庁から奨学金も得た。

1998 年から、ヨーロッパ各地、メキシコ、アラブ首長国連邦、カナダ、米国、エチオピア、ブラジルで数多くのリサイタルを開き、また協奏曲のソリストとして活躍する。これまでにアグニエシュカ・ドゥチマル、ミロスワフ・ヤツェク・ブラシュチック、トマシュ・ブガイ、ウカシュ・ポロヴィチ、シモン・ビヴァレツ、マッシミリアーノ・カルディ、スラヴォミール・シュルザノスキー、オズバルド・フェレイラ、ピオトル・ガイェヴスキ、トマシュ・ゴルカ、ミェチスワフ・グラボフスキ、ズビグニェフ・グラツァ、イェジ・コセック、アレクサンダー・リープライヒ、イェジ・マクシミウク、イェジ・スヴォボダ、マルチン・ナウエンチ＝ニエシヨウオフスキ、ジョン・ネシュリング、ジグムント・リヒェルト、イェジ・サルヴォロフスキ、タデウシュ・ストウルガワ、ジャン＝ピエール・ヴァレーズ、タデウシュ・ヴォイチェホフスキなどの著名な指揮者の指揮の下、ポーランド国立放送交響楽団、ポーランド放送アマデウス室内管弦楽団、シンフォニエッタ・クラコヴィア、フォークハイマー・カンマーオーケストラ(ドイツ)、グアナファト交響楽団(メキシコ)、フランス国立ロワール管弦楽団(フランス)、パラナ交響楽団(ブラジル)、パデレフスキ交響楽団 (米国)、 そのほかポーランド国内多数の交響楽団と共演。

ポーランドラジオ放送でポーランド国立放送交響楽団、ポーランド放送アマデウス室内管弦楽団との共演を、メキシコラジオ放送でグアナファト交響楽団とのシヨパン協奏曲第 1 番を録音している。2001 年にはカロル・シマノフスキユースシンフォニーオーケストラとベートーヴェン協奏曲第 3 番で共演。弾き振りし、録音した。その 2 年後には同曲をポーランド国立放送交響楽団と録音した。2014 年には同オーケストラとアレクサンデル・クリコフスキのピアノコンチェルト第 2 番を録音した。2019 年にはミェチスワフ・カルウオーヴィチのピアノ全曲集を録音したデビューソロアルバムが DUX レコーディングよりリリースされた。

これまでに、the 22nd Septembre Musical de l'Orne (フランス、2004)、ドゥシニキ・ズドウルイ国際シヨパンフェスティバル(2005, 2012)、スウプスクのポーランドピアノ音楽祭、Oficina de Music de Curitiba Festival (ブラジル、2011, 2012)、アレクシス・ワイセンベルクピアノ音楽祭(スイス、2007)、アラブ首長国連邦の the 8th Music Festival などの名高い国際音楽祭で演奏している。

演奏活動の傍ら、後進の指導も熱心に行っており、カロル・シマノフスキ音楽院で准教授を務めるほか、カトヴィツェの Mieczysław Karłowicz Primary and Secondary State Music School では鍵盤楽器学科長を務める。

2018 年からポーランドカトヴィツェカロル・シマノフスキ音楽院で毎年行われている国際ピアノマスタークラスの芸術監督を務める。